

東佐井寺留守家庭児童育成室運營業務委託事業者評価シート（令和5年度）

1 育成室の概要

(1) 児童数・教室数（令和6年3月1日時点）

児童数92人（うち配慮を要する児童1人）						教室数
内訳	1年	2年	3年	4年	5・6年	3教室
	35人	15人	29人	12人	1人	

(2) 受託事業者

株式会社セリオ（契約期間：令和3年4月～令和6年3月）

他に受託している育成室（佐井寺育成室、山手育成室）

2 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点 (0～3)
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	2
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	3
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	2
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	2
5	おやつ提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	2
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	2
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	2
8	配慮を要する児童（障がいや有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

3 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容を適正に履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われている。
- ②保護者アンケートの「イベント（お誕生日会など）の回数や内容について」の設問で、3回目（年度末）に実施した結果では、「満足」「少し満足」の回答の合計が約88%と高い割合となっており、1回目（7月実施）の結果から約19ポイント増加している。
- ③昨年度の課題を踏まえ、本部職員によるフォロー体制の強化や担任指導員の定着により、保護者アンケートの「指導員について」の設問で、3回目（年度末）に実施した結果では、「思う」「少し思う」の回答の合計が約77%となっており、1回目（7月実施）の結果から約18ポイント増加している。引き続き信頼関係の更なる構築に向けて努められたい。
- ④実施状況報告書の研修受講状況から、事業者独自の研修に多く取り組んでおり、職員の資質向上に努めていることが読み取れるが、市主催研修へも積極的に参加し、職員全体の更なる資質向上に努められたい。